

【鈍川】 鬼原

②8 五人衆さん



戦国時代、龍岡下の幸門城の家老・鳥生石見守が反逆を企てた。鷹ヶ森城主・越智駿河守と謀り、幸門城主正岡右近太夫を討ち取り、来島氏の旗下に属そうとしたが、事前に陰謀が発覚し、幸門城内で討ち取られた。鳥生石見守の家族は鷹ヶ森城に逃げようとしたが、鬼原のこの地で捕えられ、妻子ら5人が討ち取られた。

ところがその後いろいろなたたりがあつたので、この村では5人を祀り、供養するようになった。今でも「五人衆さん」と伝わる、一石五輪塔など5基の石造物が祀られている。

②9 はなかげさん



鬼原のバス停から落合橋を渡ってすぐのところに、穴の開いた石垣がある。

庄屋さんの家に入った泥棒が逃げる途中、ここにあつた岩に鼻をぶつけて死んでしまったという民話が残っている。村人達はいくら泥棒でもかわいそうだと思い、この地に葬ったという。今でも、お花などが供えられている。

この言い伝えは紙芝居になつている。



紙芝居の一場面

③0 工房織座

古いタオル織機を復元・改良したもので、スローに織り上げる。工業製品でありながら手作りの味わいを持ったマフラーやショール。ここ玉川の豊かな自然の中でこそ生まれるモノがここにある。ログハウス風のショップが目印。



〒794-0117
愛媛県今治市玉川町
鬼原甲55
電話0898-55-2564
FAX 0898-55-2584
定休日 不定休
営業時間
9時半～16時
<http://oriza.jp/>